

# 平成28年社会生活基本調査結果（生活行動編）

平成29年8月3日

鳥取県地域振興部統計課

社会生活基本調査は、総務省統計局が国民の生活時間の配分及び自由時間における主な活動について、5年ごとに調査するもので、平成28年10月20日現在で実施した「平成28年社会生活基本調査」のうち「生活行動に関する結果」（10歳以上の国民の5つの生活行動に関する過去1年間の行動結果）が平成29年7月14日に公表され、男女別、年齢別を含めた結果について、鳥取県の概要を別添のとおり報告書としました。

## 鳥取県の結果の概要

スポーツ、趣味・娯楽、旅行・行楽の行動者率は、前回（平成23年）と比べ上昇し、特にスポーツの上昇幅が全国に比べても大きかった。又、ボランティア活動は、依然として全国でも高い行動者率となっており、特に、「まちづくりのための活動」は全国で第3位となった。

男女別の高い行動者率をみると、学習・自己啓発・訓練では男性が「パソコンなどの情報処理」、女性では「家政・家事」が最も高く、それ以外の全ての項目においては男女とも同じ種類の行動が最も高かった。

年齢別の高い行動者率をみると、学習・自己啓発・訓練、趣味・娯楽では「15～24歳」、ボランティアでは「45～54歳」、スポーツ、旅行・行楽では「10～14歳」が最も高かった。

### <鳥取県及び全国の項目別行動者率>

区分		学習・自己啓発・訓練	ボランティア活動		スポーツ	趣味・娯楽	旅行・行楽
			まちづくりのための活動				
鳥取県	H23	31.5%	33.9%	18.0%	58.5%	80.6%	68.4%
	H28	31.3%	32.2%	18.4%	65.2%	83.1%	68.7%
	増減	-0.2	-1.7	0.4	6.7	2.5	0.3
全国	H23	35.2%	26.3%	10.9%	63.0%	84.8%	73.2%
	H28	36.9%	26.0%	11.3%	68.8%	87.0%	73.5%
	増減	1.7	-0.3	0.4	5.8	2.2	0.3

### <鳥取県の項目別、男女別、年齢別行動者率>

区分		学習・自己啓発・訓練		ボランティア活動		スポーツ		趣味・娯楽		旅行・行楽		
		パソコンなどの情報処理	家政・家事	まちづくりのための活動		ウォーキング・軽い体操		DVDなどの映画鑑賞		行楽(日帰り)		
鳥取県 (H28)	男	31.1%	13.2%	5.5%	34.0%	20.8%	71.3%	35.3%	83.4%	43.3%	65.8%	52.3%
	女	31.4%	6.9%	13.5%	30.7%	16.1%	59.6%	38.4%	82.7%	42.9%	71.4%	59.8%
10～14歳		31.8%		27.1%		87.1%		90.1%		82.0%		
15～24歳		49.8%		27.4%		80.1%		93.9%		72.3%		
25～34歳		31.0%		22.7%		69.2%		91.8%		81.8%		
35～44歳		34.2%		37.6%		70.3%		89.1%		78.4%		
45～54歳		29.2%		41.9%		67.8%		88.1%		70.2%		
55～64歳		33.1%		41.0%		61.5%		85.4%		71.2%		
65～74歳		30.3%		33.8%		61.5%		79.2%		63.2%		
75歳以上		17.7%		20.2%		46.3%		59.6%		45.9%		

## 【鳥取県の項目別概要】

### 1 学習・自己啓発・訓練

行動者率は31.3%で前回より0.2ポイント低下し、全国平均より5.6ポイント低く、全国第35位（前回第25位）で、種類別をみると「パソコンなどの情報処理」、「家政・家事」が上位となっている。

男女別の行動者率では、男性は「パソコンなどの情報処理」が13.2%と最も高く、女性では「家政・家事」が13.5%で、男性（5.5%）を8.0ポイント上回って最も高い。

年齢別の行動者率では、「15～24歳」が49.8%と最も高く、前回（36.1%）より13.7ポイント上昇している。

### 2 ボランティア活動

行動者率は32.2%で前回より1.7%ポイント低下したが、全国平均より6.2ポイント高く、全国第9位（前回第4位）で、種類別をみると、「まちづくりのための活動」が18.4%と最も高く、全国の11.3%を大きく上回る（全国第3位）。

男女別の行動者率では、男性が34.0%で、3.3ポイント女性を上回っており、種類別では、「まちづくりのための活動」が男女とも最も高く、男性20.8%、女性16.1%となっている。

年齢別の行動者率では、「45～54歳」が41.9%と最も高く、次いで「55～64歳」の41.0%となっている。

### 3 スポーツ

行動者率は65.2%で前回より6.7ポイント上昇したが、全国平均より3.6ポイント低く、全国第33位（前回第36位）で、種類別をみると、「ウォーキング・軽い体操」が最も高く、次いで、「器具を使ったトレーニング」が高い。

男女別の行動者率では、男性が71.3%で、11.7ポイント女性を上回っており、種類別では「ウォーキング・軽い体操」が男女とも最も高く、女性38.4%、男性35.3%となっている。

年齢別の行動者率では、「10～14歳」が87.1%と最も高く、前回との比較では、「75歳以上」が12.3ポイント（平成23年34.0%、平成28年46.3%）上昇している。

### 4 趣味・娯楽

行動者率は83.1%で前回より2.5ポイント上昇したが、全国平均より3.9ポイント低く、全国第39位（前回第35位）で、種類別では「DVDなどによる映画鑑賞」が最も高かった。

男女別の行動者率では、「DVDなどによる映画鑑賞」が男女とも最も高く、男性43.3%、女性42.9%となっている。

年齢別の行動者率では、「15～24歳」が93.9%と最も高く、前回との比較では、「10～14歳」を除く全ての年齢別で上昇している。

### 5 旅行・行楽

行動者率は68.7%で前回より0.3ポイント低下し、全国平均より4.8ポイント低く、全国第31位（前回第33位）で、種類別では「行楽（日帰り）」が最も高かった。

男女別の行動者率では、女性が71.4%で、5.6ポイント男性を上回っており、種類別では、「行楽（日帰り）」が男女とも最も高く、全ての種類で女性が男性を上回っている。

年齢別の行動者率では「10～14歳」が最も高く、前回との比較では、「25～34歳」が10.4ポイント（平成23年71.4%、平成28年81.8%）上昇している。